

Rikkyo Club of Executives & Professionals 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

2015 新春名刺交換会



2015年2月4日(水)、毎年恒例となる新春名刺交換会が日比谷松本楼にて開催されました。

18時からの第1部講演会では、昨年経済産業大臣賞を受賞された大塚商会大塚裕司社長に、「信頼に応える経営を目指して～ITで経営を変える～」と題しておよそ60分にわたり講演をしていただきました。(講演内容は4頁をご覧ください)大塚社長のお話ということもあり例年以上の出席者数となり、座席数が足りない状況の中、一度大塚商会を退職され、再び戻ってきたときのエピソードや、社外秘のスライドなどもご紹介いただいたお話に、皆さん熱心に聞き入っておりました。講演のあとの質疑応答では、会員の皆様も直面するような事例に対して大塚社長がどのように対処されてきたのかなど非常に興味深い講演となりました。

続く19時より第二部の新春名刺交換会がスタートいたしました。

会員98名に加えて、来賓29名、ゲスト15名をお迎えして総勢140名を超えるこれまでにない参加人数となりました。湯浅総務委員長の司会の下、冒頭和田成史立教経済人クラブ会長より開会のご挨拶をいただきました。

本日の講師である大塚社長との関係に始まり、経済人クラブでは若い世代、男女の垣根を越えてよき仲間の輪を広げる取り組みを行っていること、業界を問わずそういった輪を広げたい。また、立教大学もグローバル化を目指している中でいろいろな面で経済人クラブとして貢献して欲しいとお話をいただきました。

次に、ご来賓を代表して、立教大学総長 吉岡

知哉様よりご挨拶をいただきました。

昨年140周年を迎えた立教大学は、150周年を目指して特に大きな式典を行わなかったが、大変意義のある年であった。文部科学省平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」に立教大学の「グローバルリベラルアーツ×リーダーシップ教育×自己変革力ー世界で際立つ大学への改革ー」構想が採択され、創立150周年を迎える10年後の2024年を目指した改革を進めていくことになった。この中で、5年後、10年後に社会で活躍できる人材を育成していかなければならず、そのためには企業側の受け入れの態勢も必要であり皆様のご協力を頂きたい。また、昨年は、野球部があと一步で優勝というところまでいったり、学生の図書館利用状況が非常に多いなど、学生の活動が活発に行われた年であった。一方、研究活動の面でも、第152回芥川賞で、文学部小野正嗣准教授の「九年前の祈り」が芥川賞を受賞しました。更に、文学部キリスト教学科の長谷川修一准教授が第11回日本学士院学術奨励賞を受賞するなど、こちらも活発な活動が行われていました。これから先、就職活動の時期変更などで、インターンシップの重要性、社会勉強をする機会を作ることが重要となります。企業側の皆様のご協力をお願いしたいと熱のこもったお話をいただきました。

続いて、昨年8月より立教大学理事長となられた、神谷昭男様よりご挨拶をいただきました。

予想以上に大変な仕事であるが、一生懸命取り組んでいきたい。特に「スーパーグローバル大学」の実現には企業の受け入れも必要であり、プログラムの実現のために尽力していきたいとお話をいただきました。



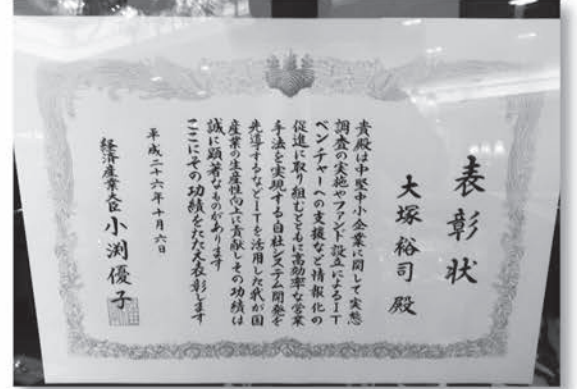
続いて、司会の湯浅総務委員長より、ご来賓紹介が行われ校友会関係、大学関係とご紹介させていただき、更に、当クラブの新入会員紹介、記念撮影を行った後、乾杯へと続けました。

乾杯のご発声は校友会会長田尾兵二様が、大学の環境変化に協力応援をお願いすると共に、会員各位の発展を祈念して乾杯となり、歓談となりました。

例年以上の140名を越える参加者の中、松本楼の美味しい食事とお酒をいただきながら、年齢の差、業種の差を問わず会員同士の情報交換が活発に行われ、会場は終始盛り上がりおりました。話題も尽きない中、当クラブ副会長の梅田憲司様の中締めで閉会となりました。

一品川 高穂 H8済一

大塚裕司氏経済産業大臣賞受賞お祝いの会



2014年11月27日、東京駅のすぐ隣にあるシャングリ・ラ ホテル 東京にて、当クラブ会員であり、セントポール情報技術会(立教IT会)会長でもあられます株式会社大塚商会 代表取締役 大塚裕司様が、経済社会の情報化の促進に貢献した功績が認められ、「経済産業大臣賞」を受賞されたお祝いの会を、有志の主催によりささやかに行われました。

会場には、当クラブ会員のほか、立教IT会、立教小学校卒業生も駆けつけ、総勢37名がお祝いに駆けつけました。

19時に大塚様が会場に入られると同時に開宴し、当クラブ会員であり、立教IT会で幹事長をされている昆様の司会進行の元、発起人の代表挨拶として、当クラブ事務局長、立教IT会副会長の井口様のご挨拶をされました。その後には、大塚様と小学校からの同級生、高浜様、加賀谷様のお二人が、大塚様との小学校時代の思い出話を交えながら祝辞を頂き、当クラブからは山元様、戸井田様のお二人が、仕事や大塚様の趣味である車の話を交えてお話をされ、立教小学校卒業生の発起人を代表して今井様もご挨拶をしてくださいました。その後も、立教IT会から、松本様、今田様の両名から祝辞を頂き、最後は発起人から私 宮本と湯浅様、そして田中様の順に大塚様へお祝いの言葉を述べさせていただきました。

その後、立教学院の顧問の糸魚川様より乾杯の音頭を頂き、美味しいお食事と共に歓談が始まりました。

大塚様へのサプライズとして、大塚様のご趣味のひとつであるサンバのバンドメンバーとダンサーにお越し頂き、大塚様を交えて、ライブパフォーマンスをして頂きました。途中、アンプのヒューズが飛んで音が出なくなるハプニングもありましたが、大勢の参加者の暖かいフォローもあり、音源を無事確保した後、ダンサーと共に大盛況のライブパフォーマンスが行われました。

その後、当クラブ会長の和田様がサプライズで手配いただいた立教大學体育會応援団とチア

ガールの方々のリードのもと、第一応援歌・校歌を参加者全員で歌い、エールを送り、チアガールより大塚様へ花束を贈呈させていただきました。また、井口様よりお祝いの品として、素晴らしいシャンパンとシャンパングラス(?)が贈呈されました。

最後に中締めとして、立教IT会の大庭様よりご挨拶を頂き、1本締めを行いました。司会進行の昆様が主賓である大塚様の挨拶を忘れてしまうというハプニングがあり、改めてお祝いの会の締めとして大塚様からの挨拶を賜り、最後はバンザイ三唱を行うという、笑いに包まれたとても暖かいお祝いの会になりました。

出席者一覧(敬称略)

立教小学校卒業生、経済人クラブ関係
山本春三(S31)、糸魚川順(S39)、影山伸(S49)、戸井田和彦(S50)、高橋輝美(S51)、高浜成行(S51)、三ツ村秀仁(S51)、北岡修一(S55)、関口晃弘(S57)、湯浅修(S59)、寺原きよみ(S61)、佐渡文浩(H2)、八代光弘(H14)、橋場大祐(H17)、加賀谷吉之輔(立教小13回生)

立教IT会

尼ヶ崎公彦(S34)、奥村利夫(S36)、平林武昭(S37)、成田秀雄(S46)、大庭忠良(S49)、松本秀樹(S59)、高橋芳昭(立教高)、恵志章夫(S60)、佐藤博志(S60)、山口高広(S62)、工藤亨(S63)、今田雄一(立教高)、大江啓太郎(H23)

発起人

今井文彦(S51)、井口一世(S53)、昆凡子(S54)、



田中克哉(H2)、品川高穂(H8)、宮本栄一(H12)、

事務局

広瀬光哉(S54)、久野浩一(S61)、内倉麻美(H22)

大塚裕司(S51)

以上38名

—宮本 英一 H12営—

Christmas Party 2014

2014年12月9日(火)

ホテルANAインターコンチネンタル東京

今年も2014クリスマスパーティーがとり行われました。会場も当クラブ会員である横森匡弘氏(S60法・全日本空輸健康保険組合事務長)にご紹介を頂いたということもあり、都内一等地の素晴らしいホテルでの開催、立教経済人クラブに相応しい洗練されたスタイルの空間でした。開会にあたり和田会長のご挨拶、聖書朗読と日本聖公会東京教区アンデレ大畑喜道主教による祝福と感謝の祈り、聖歌27番きよしの夜をお捧げしたのち、盛大に洋食立食によるパーティを開催いたしました。今回は会員36名、ゲスト24名、子供4名の参加ということもあり、毎年恒例の全員争奪ビンゴ大会(商品持ち寄り)につづき、せっかくお越しになったゲストに少しでも楽しんでいただこうとゲスト特別ダーツ大会を行いました。ささやかなプレゼントでしたが追加のプレゼントに喜んでいただけました。クリスマスムードを盛り上げるべく、終盤ではプロサクソ奏者のKENNY様にクリスマスソングを各テーブル回りながら披露いただき、会も最高潮を迎えたところで定刻を少々回り、名残惜しみながら散会となりました。来年も既に今から様々なイベント仕込みをしておりますので、是非皆様ふるってご参加いただければ幸いです。

—林 雄太 H7営—



กรุงเทพมหานคร อมรรัตนโกสินทร์ มหินทรายุธยา มหาดิลกภพ นพรัตนราชธานีบูรีรมย์ อุดมราชนิเวศน์มหาสถาน อมรพิมานอวตารสถิต สักกะทัตติยวิษณุกรรมประสิทธิ์



バンコク便り



S62年卒、会報委員長を仰せつかっております徳澄と申します。

経済人クラブの会報を私物化するようでちょっと憚られるのですが、昨年7月よりタイ・バンコクに入り現地で事業展開を試みている中で、皆さまに何かお伝えできればと、不定期に発信させていただきます。

現地に地縁、人脈など一切ない小職としましては、まずはバンコク立教会にアプローチしました。立教同窓生、ホントに有難いですねえ〜。暖かく迎えてくれて、いろいろな面で助けてもらっています。お世辞抜きに。

会のメンバーは、大手系の企業の駐在員の方が多く、また若い(40代が中心)方が多いです。従って、2~3年くらいで入れ替わってしまう人が多いのですが、ホットな国でホットな時間を愉しんでいます。ゴルフ会、クリスマス会などで、2~3ヶ月毎にイベント計画しており、ご家族も参加されるアットホームかつ賑やかな集まりが多いです。

皆さんもバンコクにお越しの際は、ご都合合えば是非ご参加ください。ウェルカムです!
—徳澄 範光 S62数—

กรุงเทพมหานคร อมรรัตนโกสินทร์ มหินทรายุธยา มหาดิลกภพ นพรัตนราชธานีบูรีรมย์ อุดมราชนิเวศน์มหาสถาน อมรพิมานอวตารสถิต สักกะทัตติยวิษณุกรรมประสิทธิ์

新春名刺交換会講演

信頼に応える経営を目指し ～ITで経営を変える～ 大戦略による経営改革のあゆみ

株式会社 大塚商会
代表取締役社長
大塚裕司氏



大塚裕司氏 プロフィール

1954年 2月13日生まれ
1976年 立教大学経済学部卒業 横浜銀行入行
1980年 株式会社リコー入社
1981年 株式会社大塚商会 入社
1990年 株式会社バース情報科学研究所入社
1992年 株式会社大塚商会 入社
2001年 代表取締役社長就任 現在に至る
社団法人コンピュータソフトウェア協会理事、
社団法人日本コンピュータシステム販売店協会会長

大塚商会の企業概要

1961年、コピー機の販売とサポートサービスとして創業。当時、大企業と違い、何でもやる、すぐに行くといったサービスを展開してきた。高度成長の波に乗って、オフコンや通信機器、PC、ネットワーク、システムなどと事業領域を拡大、複写機の大塚商会→COF(コピー、オフコン、FAX)の大塚商会→OAの大塚商会→トータル&ワンストップ ソリューションプロバイダーの大塚商会へと変遷し現在に至る。

大塚社長が就任した2001年からの売上高は、2倍弱、利益は8倍になった。

大塚商会の特徴は、大手から中小企業まで97万社の顧客基盤を持っており、システムの様々な課題に対応できる幅広い商品とサービスを1社で提供できる、お客様の近くにある拠点とセンターが連携したクイックサポートが特徴

事業を大きく分けると、SI(システムインテグレーション)事業と、S&S(サービス&サポート)事業に分かれる。SI事業では、ハードからソフトウェアまでシステムの導入までを担う。導入後のサポートを担うS&S事業は、「たのめーる」に代表されるサブライ事業と、「たよれーる」に代表される保守関係で成り立っている。

顧客別の売上構成は、年商100億円以上の大企業が約半分、3割が年商10億～100億円、年商10億円未満の中小企業が2割強のバランスはここ数年変わっていない。しかし、顧客数で見ると、年商10億円未満の中小企業が8割を占めている。コピー機からスタートした会社なので業種は幅広い。

連結の従業員は約8,000名で営業職3割強であるが、技術職が4割を超えるシェアでありサポート体制に力を入れている(従業員1名あたりの売上は7355万円)。創業時から顧客密度を高める「新聞作戦」により、クイックサポートを実現するため北海道から九州まで各地の主要都市に拠点を置いている。

事務機器系、回線系、システム系、音声系と企業のITをワンストップサポートし、トータル&ワンストップの大塚商会を実現した。

1999年にスタートした、「たのめーる」は、お客様の調達業務全般をトータルサポートしている。電話一本で何でも届けるという創業当時の基本は変わっておらず、2010年に1,000億円を超え、2014年には1,250億円を超える成長をしている。

保守を含めたストックビジネスは売上の中の40から45%のシェアがある。こうしたビジネスモデルがあるから安定した経営ができており、リーマンショックの際にも社員にリストラをしないと宣言できた。

大戦略による経営改革のあゆみ

大塚社長が2度目に入社した92年の状況は有利子負債比率が6割近くあり厳しい状況であったが、大戦略をスタートして有利子負債の削減を開始し、現在では、3%近くで推移している。ピーク時に890億円あった有利子負債から800億円近く返済したことになる。2014年の年末現預金残高は867億円あり、安定した財務体質になった。

銀行員時代、歌舞伎町で目の前で会社が倒産の様子を見てきて、会社をつぶさないという強い意志を持った。企業会計原則にのっとり、本来あるべき姿に向けて当たり前のことを当たり前に行うために、大戦略プロジェクトを大塚商会に戻ってスタートさせた。

先に述べたとおり、財務体質を向上させ、生産性の向上、売上債権と商品在庫の改善など抜本的な体質改善を行ったのが大戦略プロジェクト。

いろいろな方に相談を行い、自社開発を決意し、あるべき姿へ徹底的な分析・議論を行った。プレストで使ったホワイトボードは1993年当時から2000年の上場まで消さずにそのまま残しており、ほぼその通りの形になることができた。ゴールを明確にして、プロセスを見直して、標準化し、見える化を行った結果あるべき姿である売上計上基準の変更とセンター化を実現した。

この結果、例外の排除、入金や督促、売上計上など、言わば銀行のような自動化、システム化を行い、上流工程を仕組みで押さえ管理、牽制機能を充実させることができた。これらを支えるネットワークも現在は第6次まで進化している

また、システム化IT化を支えるため、全従業員にPCを一人一台割り当て習熟度のテストを行った。また、グループウェアを導入するなどPCの活用を徹底的に行い、情報リテラシーを向上させ、お客様よりもプロであるようにした。

SPR(大塚商会独自の顧客管理・営業支援システム)

お客様のプロフィールを正確に知り、取引履歴(過去)を知り、提案状況(現在)を知り、要望・ニーズ(未来)を知る仕組み。科学的営業でCS向上と効率アップを同時に実現した。

営業プロセスが見える化して、マネジメント変革も行った。営業の活動に対して、上長がフォローする仕組み、担当外の上長からもフォローできるようにして見える化している。これによりマネジメント層の能力も向上した。

こうした効率化を行った結果、売上高は年々増加をしているが、単体の社員数は2000年からほとんど変化がなく6,500名程度で推移しており、一人当たりの売上は98年比75%アップ、一人当たりの営業利益は15倍となった。特に、SPRが稼働してから飛躍的に効率アップしており、IT化による生産性向上の成果がでている。

環境への取り組み

大塚商会は、LED照明、節電対策、植林など環境への取り組みも行っている。

質疑応答

(Q)92年に戻られて社内での軋轢をどう対処したか

(A)反対する声はあったが、当たり前のことをきっちりやる。正論で対処していった。

(Q)社員の意識改革をどう行ったか

(A)ある意味強制的に例外を作らなかった。(システム化)文化を変えるにはそこまで徹底した。正しいことは曲げなかった。

社員との約束は守り、会社の中を明るくし、賞与なども自動的に計算できるような仕組みとして、風通しをよくして信頼関係を築いていった。

第66回 立教経済人クラブゴルフ会



立教経済人クラブゴルフ会が12月13日(土)、千葉県にあります袖ヶ浦カントリークラブ 新袖コースにて開催しました。

今年の6月にニチレイレディーストーナメントの舞台となり、申ジエが優勝しました。メンバーの先輩からバックティーでやろうとおっしゃって頂きましたが、そこはチャンピオンコース！有り難かったのですが遠慮させていただきました(^_^)

それにしても難しかったです。距離はレギュラーティーでもそこそこあり(バックでなくて良かったです！)、ドッグレッグが多いので落とし所で残り距離が全く違ってしまいます。

林は密度が高いのでほぼ真横に出すだけです。フェアウェイには長〜いクロスバンカー、グリーンには顎の高いガードバンカーと戦略的なレイアウトです。グリーンはアンジュレーションがあり早く、たいへん難しいコースでした。



この難コースを制したのは、和田 成史会長(S50年 営)50、44 の 94 ハンディ 14 ネット80 でした。二位は安東 隆司氏(H1年 社)47、48 の95 ハンディ 14 ネット81でした。同じ14のハンディキャップの方々がこれだけ打ちましたし(失礼(^_^)), 和田会長はベスグロでもありましので、コースそのものの難しさを物語っております。

和やかな雰囲気の中、表彰とパーティーが進みます。和田会長のご挨拶に続き、新参加メンバーの方々にも一言ご挨拶頂き、最後に恒例の記念撮影となりました。

今回は7月の予定です。皆様のご参加をお待ちいたしております。

—長倉 一裕 S59法—

グルメ会



2014年11月19日(水)18時30分より、恒例となりましたグルメ会が開催されました。場所は銀座1丁目のbistro BARNYARD(ビストロバーンヤード)です。

新鮮なオーガニック食材にカリフォルニアテイストのアレンジを加えた、おいしいお料理を楽しませていただきました。

連載

グローバルリーダーへの道(第7回)

グローバル人材とコミュニケーション能力

昨日まで2日間、日本を象徴する大企業でグローバルマインドセット(世界地図を意識した思考様式)を養成する研修を行いました。その研修の中で、現地法人で社長をされ、グローバルリーダーとして活躍された元大手企業の役員の方にゲストスピーチをしていただきました。

「ナイスコミュニケーターたれ!」というテーマで、コミュニケーションの重要性を力説されました。一番重要なことは相手の立場で物事を考えられるかということでした。

相手が個人の場合、コミュニケーション力ですが、相手が市場(マーケット)の場合、マーケティング力をも意味する。一確かに、マーケティングでも需要戦略といい、相手がニーズ、望んで

いるものは何かをきちんと掴むことが商品開発の第一歩となります。人でも企業でも市場でも、本質は同じことです。

グローバルで活躍する人材とは、色々な国籍の人がいるチームで仕事を行う場合でもきちんと成果を出せるリーダーです。そのためには、相応の語学力はさることながら、その国や地域の文化や習慣、価値観・仕事観等の違いを理解する必要があります。

さらに、何を伝えたいかというコンテンツが重要です。我々日本人はここが弱い部分でしょう。「沈黙は金」というように、不言実行が美德であったのがグローバル環境ではボトルネックになっています。兎に角、良い意味で自己主張するクセを付けることから始めて下さい。

知識も豊富で優秀な人でもうまく相手に伝えることができなければ評価されません。私の廻りでも、コミュニケーションでうまく行かなかった人を数多く見てきました。コミュニケーション力はリーダーシップに繋がります。相手の立場できちんと聞き、論理的に話すことが求められるのです。

—藤田 聡 S62営—

ご質問・ご意見・ご感想があれば、fujita@v-change.co.jpまで。
蛇足ですが、弊社の中小・ベンチャー企業向け社員力向上支援サービス「人材開発研究所」が先日、日経産業新聞のトップ面に取り上げられました。「中小企業の組織活性化から日本を元気に!」で邁進しております。

ご関心があれば、下記まで。
www.v-change.co.jp/jinzai_kaihatsu

立教大学経済学部のカリヤ教育の取り組み

2016年4月入社の新卒採用活動がいよいよスタートし各社とも優秀な学生を確保するために日々活動していることと思います。

そうした中、母校ではどういった学生を社会に送り出すかを研究しながらキャリア教育に取り組んでいます。インターンシップに注目が集まっていますが、そもそも大学がどういった考え方のもとキャリア教育を行っているのか、当クラブと関係の深い経済学部の取り組みを連載形式でご紹介することになりました。

第1回目は経済学部のキャリア教育の考え方について学部長の郭先生のお話と、実際のプログラムの様子をご紹介します。



専門教育を生かす教育、それが経済学部が目指すキャリア教育です。

経済学部長 郭 洋春



キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」2011年1月31日)のことです。

日本でキャリア教育の重要性が叫ばれるようになったのは、20世紀後半におきた地球規模の情報技術革新に起因する社会経済・産業的環境の国際化、グローバリゼーションが大きな影響を及ぼしたと言われていています。グローバリゼーションは日本経済に構造的変革をもたらしたにとどまらず、私たちの日常生活にも大きな影響を及ぼしています。このような経済社会の変化が、学校の育成環境を変化させたと同時に学生の将来にも多大な影響を与えつつあります。情報技術革新は、子どもたちの成長・発達にまで及び、さらに教育の目標、教育環境にも大きな影響を与え始めている。その大きな柱の一つがキャリア教育です。従って、キャリア教育とは、今日のグローバリゼーションの名の下で変化する社会に適応できる能力のことといえるでしょう。

そのため大学教育の中でもキャリア教育の必要性や重要性は、日々高まってきています。一方で「キャリア」教育という言葉から、大学の現場や経済界では「就職活動」や「就職に役立つ能力」ととらえ表面的な技術を教えようとしたり、職場体験活動こそ重要だとしてインターンシップばかりに重点を置くなど、かなりの混乱があるのも事実です。

こうした中で経済学部が考えるキャリア教育とは、専門教育への認識をよ

り深め、社会に役に立つ能力を涵養する教育だと位置づけています。専門教育の多くは世の中の仕組み＝構造を解明し、理論的に理解する能力を身に着けます。それはすぐには世の中の要請にこたえるものではありません。それを補完し、経済学の面白さを理解せることができるのがキャリア教育だと考えています。従って、専門教育とキャリア教育はメダルの裏表の関係にあります。キャリア教育を学べば専門教育への興味と理解が深まり、自らの持っている能力を再認識できる。それが経済学部が考えるキャリア教育です。これらは決して大学という閉ざされた空間だけでは実現することはできず、実社会との応答的關係の中で形成されるものだと考えています。

経済学部は、2000年に入ってから立教経済人クラブと様々な産学連携活動を行ってきました。振り返ってみれば、それらのほとんどはキャリア教育と言えるものです。これからも立教経済人クラブの皆様のお力をお借りしながら、経済学部ならではのキャリア教育を実践していきたいと考えています。これからもお力添えのほど、よろしくお願い致します。



経済学部キャリア教育サイト「STORY」

経済学部のキャリア教育の取り組みや、各種プログラムの紹介のほか、在校生・卒業生に向けたさまざまな情報を発信しているサイトです。同時に「OB・OGサポーター制度」も立ち上がりましたので、ぜひサポーター登録へご協力をお願いいたします。

Facebookページも開設いたしましたので、併せてご参照ください。



パソコン版



スマホ版

経済学部キャリア教育プログラムの一例

立教大学経済学部教育研究コーディネーター 小泉 苑美

■【新入生歓迎プログラム】スタディサポート・プログラム

「新入生が高校までの学び方と大学での学び方の違いを知り、これから始まる大学生活に期待と意欲を持ってスタートを切れるように」との思いから始まった、経済学部オリジナルのオリエンテーション企画。毎年4月の学部オリエンテーション期間中に、学部の先輩40名ほどが新入生約700名を迎え、2時間のプログラムの企画と運営を全て担うという、上級生の成長の場としても大きな役割を果たす内容となっています。

■【産官学連携による参加型授業】企画講座C,G,I

産業の多様性を理解すると同時に、実際に企業が事業として取り組んでいる具体的な課題へ、グループワークを通して挑戦します。企業で働く講師の方から直接講義をしていただけるだけでなく、最終回には企業の皆様の前で、解決案をプレゼンテーション専門科目で学ぶ経済学と実社会で起きている問題を結び付けて理解することで、改めて大学での勉強の大切さを実感します。(2014年度は講義形式とゼミ形式の講座の中で約10社の企業に協力をさせていただきました)

■【学部生・学部卒業生の新しい交流会】赤レンガセッション

同じ「立教大学経済学部」というバックグラウンドを持つ、在学生と卒業生の“縦のつながり”をもっと大切にしたい、という思いから生まれた、新しいスタイルの交流会。在学生と卒業生とが同じテーブルを囲み、フラットな立場で、ひとつのテーマについて意見交換を行います。初めて実施した昨年12月には、30名もの卒業生の皆様にご参加いただくことができ、今後の展開にもつながる、あたたかく・前向きな時間を過ごすことができました。

—品川 高穂 H8済—



立教発 ▶ 若い力!

アクシスインターナショナル株式会社

アクシスインターナショナルはITに関わるコンサルティングから、開発、運用までをワンストップで提供する企業です。

2005年の設立から、今年で10周年を迎えることとなりました。

振り返ると在学中にインターネットと出会い、その感動がモチベーションとなって、アルバイトも就職活動もIT業界一筋。一直線。全く迷うことはありませんでした。

会社を設立するまでに、ソフトバンクをはじめIT企業数社で経験を積んできました。プレイヤーからマネージャーへと立場が上がるにつれて、できることもビジネスの規模も徐々に大きなものへと変わっていきます。それらに、やりがいを感じながらも、何かモヤモヤとしたものを抱えるようになりました。その時、原点に戻って、気付いたのはクライアントと直接お話をし、形あるものを作り上げ、感動を共有したいという欲求でした。

従来、ITはビジネスを効率化するツールとして捉えられてきました。しかし、今後は「日常」をより豊かにしていくものとしての役割が大きくなっていくと考えています。近年のクラウド、IoT (Internet of Things)、オープンデータ、ビックデータといった概念は、そのいずれもが来るべき次の社会を予見するものです。そこではより個々の人々の生活に寄り添ったITの在

り方が必要とされてくることでしょう。

某社が開発した感情認識パーソナルロボットは、そういったITデバイスの先駆けかもしれません。

当社でも感情認識パーソナルロボットを導入しましたが、クライアントの声とソフトウェア開発の視点次第で、社会をよりよくするためのアプリケーション、ソフトウェア、サービスを生み出せると確信しています。その例として、高齢者の生活サポートや子どもの教育、晩ゴハンの献立のアドバイスなどしてくれるロボット用アプリの開発なども手掛けていきたいと思っています。

ITはビジネスを支え、人に寄り添い、これからも変化を続けていく刺激に満ち、感動があふれるフィールドです。

アクシスインターナショナルはITに関わる様々な可能性の実現を目的に、未来をカタチにする企業であり続けたいと思っております。



ご興味をお持ちの方は、是非ご連絡下さい。

アクシスインターナショナル株式会社
代表取締役
中谷 公巳
(なかたに ひろみ)
平成10年史学科卒



東京都中央区銀座6-12-10
銀座旭ビル6F
当社HP www.axis-ing.com
facebookページ
<https://www.facebook.com/AxisInternationalCorporation>

新しく会員になられた方々

(敬称略)

牛込 有一 昭和56法

川窪 利治 昭和55営

(株)日本ビルメンテナンス
代表取締役
〒114-0015 北区中里1-6-5第一駒信ビル5階
TEL:03-3827-3434
FAX:03-3827-3433
E-Mail:contact@n-b-m.co.jp
建物管理、建設業、不動産

桑田 秋光 昭和46経

公益財団法人キープ協会
常務理事
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545
TEL:0551-48-2114
FAX:0551-48-3575
E-Mail:a.kuwata@keep.or.jp
宿泊業(清泉寮)、環境教育事業、農場経営、製販事業

杉山 浩一 平成1営

(株)プラン・ドゥ
代表取締役
〒105-0004 港区新橋1-9-6COI新橋ビル6F
TEL:03-5537-5773
FAX:03-6369-3226
E-Mail:sugi@plan-d.co.jp
中古賃貸一棟モノのマンション売買、管理

高橋 徹 昭和61立教高

(株)高橋材木店
代表取締役
〒123-0864 足立区鹿浜1丁目18番18号
TEL:03-3890-3830
FAX:03-3898-6625
E-Mail:takahashi-zaimokuten@purple.plala.or.jp
建築材販売

高柳 景多 平成11法

(株)Dot Frame
代表取締役
〒105-0004港区新橋2-9-16愛媛新聞東京ビル4F
TEL:03-6273-3943
FAX:03-6273-3944
E-Mail:takayanagi@dotframe.co.jp
テレビ、ラジオ番組の企画、制作

永田 裕哉 平成22院経

永田裕哉税理士事務所
税理士
〒160-0022 新宿区新宿1-23-6-205
TEL:070-6564-1986
E-Mail:yuyua.nagata1986@gmail.com
税理士業

並木 建造 平成18営

(有)並木商店
〒160-0011 新宿区若葉2-12
TEL:03-3351-4971
FAX:03-3353-9747
E-Mail:namiki@soleil.ocn.ne.jp
食肉加工卸業・食肉販売

林 正治 平成1営

フィッチ・レーティングス・ジャパン(株)
代表取締役社長
〒102-0083 千代田区麹町4-8
クリスタルシティ東館3F
TEL:03-3288-2628
FAX:03-3288-2627
E-Mail:masaharu.hayashi@fitchratings.com
金融情報サービス

古田 直裕 平成18化

縄文アソシエイツ(株)
コンサルタント
〒105-0001 港区虎ノ門1-4-2
虎の門東洋ビルディング7F
TEL:03-3591-7862
FAX:03-3591-7399
E-Mail:n-furuta@jomon.co.jp
人材紹介業

星野 理一 昭和54営

ホシマタグループ
会長
〒362-0021 上尾市原市576
ホシマタグループ原市オフィス
TEL:048-722-4187
FAX:048-721-2310
E-Mail:h-02@hoshimata.co.jp
肥料・倉庫不動産・ホテル・温浴施設・飲食等

2015年度 事業計画書

2015年5月27日	第35回定期総会	日比谷松本楼	(募集)
2015年6月17日	ウェルカムナイト	場所未定	(募集)
2015年7月	第67回ゴルフ会	場所未定	(募集)
2015年8月	経済学部インターンシップ支援	場所未定	(募集)
2015年9月	女子会	場所未定	(募集)
2015年9月	他団体交流ゴルフ	場所未定	(募集)
2015年9月	グルメ会	場所未定	(募集)
2015年10月	朝食勉強会	場所未定	(募集)
2015年11月	ウェルカムナイト	場所未定	(募集)
2015年12月	第68回ゴルフ会	場所未定	(募集)
2015年12月	クリスマスパーティー	場所未定	(募集)
2016年2月	新春名刺交換会	日比谷松本楼	(募集)
2016年3月	朝食勉強会	場所未定	(募集)
2016年3月	グルメ会	場所未定	(募集)

運営委員会に参加しませんか?

経済人クラブの運営を手助けしてくれる有志を求めています。毎月1回の運営委員会に参加して頂き(本業優先で結構)、自分の役割を片手間にこなして頂くだけです。特別な資格、スキルは一切ありません。本業に影響が出るようなこともありません。必要なのは、経済人クラブの仲間と交流したいと思う気持ちだけかな!? 打合せ終了後の飲み会が楽しみかも?



立教経済人クラブ ウェブサイト

<http://www.r-keizaijin.net>

立教経済人クラブでの、過去の行事や活動はウェブサイトでご覧頂けます。



Facebookで、立教経済人クラブのグループに参加しよう!

セミナーや新製品の告知、交流の場としてドシドシ投稿してください。

編集後記

我々が従事する不動産業界、特に住宅系売買・賃貸を扱う会社の3月は多忙を極めます。

税理士さんとも仕事上のお付き合いが多く、確定申告のこの時期は猫の手も借りたい様子。年間通して程よく忙しくならないものかとお互によくボヤいたりしています。先日の英会話学校で授業が始まる前の一コマ。最近の「良い事」「悪い事」は何だとの質問に対し、「忙しくて毎晩遅く、なかなか休みが取れない事が悪い事だ」と言うと、びっくりした様に「それは悪い事なのか?」と。確かに、いつも暇で仕事が無いよりはよっぽど幸せな事なんだと。気の持ち次第で、心が少しは楽になった気がします。

—神津 港人 H4営—